



▲ 風をいっぱい受け、よくあがったポリ袋のぐにやぐにや凧

**変な凧でも
高く飛んだぞ！**

6年 伊橋 晃

自分で作った凧を飛ばしました。ぼくは、やっこ凧を作りました。作っているときは、

**難しかった
紙張り**

5年 関 祥平

凧の骨組みはそれほど難しくありませんでしたが、紙を張るのが難しかったで

す。紙が少したりなくなってしまい、何度も何度も張りをしたり、のりをつけすぎたりでたいへんでした。

でも苦労のかいがあつて糸がたりなくなるほど高くあがりました。

思うようにいかなくてうまく飛ぶかどうか心配でした。苦労してやつとてきたけれど、友だちに変な凧といわれて、ちょっとびくやしい思いをしました。でも、とても高く飛んだので、うれしくてたまりませんでした。

小田部の広々とした田の畔から南条小学校の児童が、

1月14日に色とりどりの凧をあげました。これは、

『南条小学校』

至高くあがった 手づくり凧

② 学びあい

(22)



1月23日の凧あげ大会の試しあげです。糸の調整をしながら、空高く舞いあがる凧に大きな歓声が飛んでいました。

凧は、冬休みの課題として全校児童が作成しています。図工の時間に酉年に因んでニワトリやヒヨコなど思い思いの絵や言葉を書きました。なかには目玉焼の絵の凧もありました。その他、ポリ袋で作つたぐにやぐにや凧や障子紙のダイヤ凧、やっこ凧など形もいろいろあります。



▲ オリジナルの凧作りに一生懸命

▼ 思い思いの絵が入った凧

